

資料No. 1

令和元年度保健事業実績について

[目 次]

— 保健事業の方針 —

第1章	生活習慣病予防等の健康づくり	1
1	生活習慣病予防の推進	1
2	がんの早期発見と予防対策の推進	3
3	生活習慣病の重症化予防	5
第2章	将来を担う次世代の健康と生涯現役社会づくり	7
1	妊産婦や乳幼児期からの健康づくりの推進(加東市母子保健計画)	7
2	こころの健康づくり	11
3	高齢者への介護予防の推進	13
4	健康を支え守るための社会環境の整備	15
第3章	栄養・運動・休養・飲酒・喫煙および口腔に関する生活習慣の改善	16
1	栄養・食生活(加東市食育推進計画)	16
2	身体活動・運動	18
3	休養	20
4	飲酒	21
5	喫煙	22
6	歯・口腔	24
第4章	健康危機における健康確保対策	26
	予防接種の実施状況	28

保健事業の方針

令和元年度が「健康・笑顔・まちプラン」の計画期間の最終年度であることから、現行計画の評価と次期計画の策定を行います。昨年に引き続き、妊娠・出産・子育て支援の充実、好ましい生活習慣の定着及び食育の一環として和食推進などを重点的に取り組みます。また、関係機関との協働により、市民の主体的な健康づくりを支援します。

■計画（保健事業）の目的

全ての市民が、ともに支え合いながら、希望やいきがいを持ち、健やかでこころ豊かに暮らせるまちの実現を目指します。

■施策方針

- 一人ひとりが主役、笑顔ですすめる健康づくり
- 愛情たっぷり、こころつながる健康づくり
- 健康でしあわせに暮らせる地域づくり

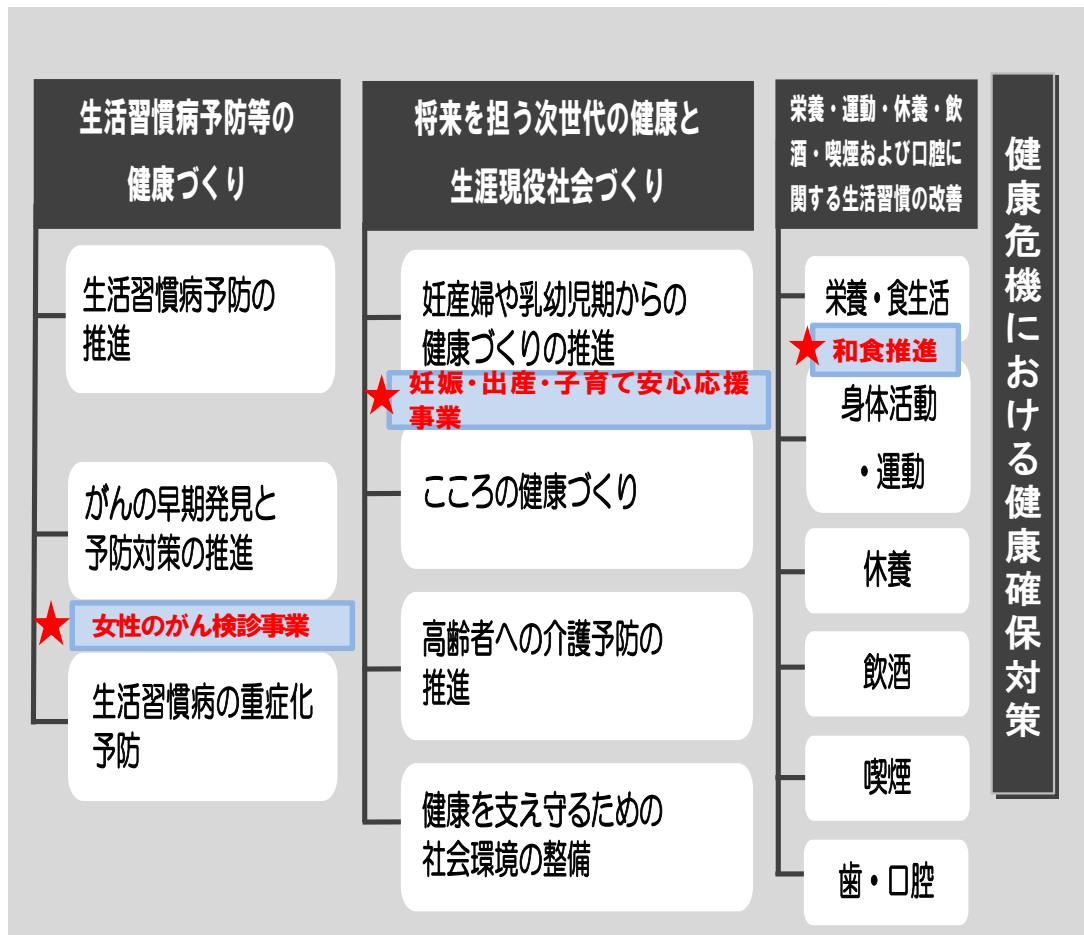
■キャッチフレーズ

健康づくりで笑顔を広めよう！
こころもからだも元気なまち かつう

■健康づくりの施策体系



重点事業



第1章 生活習慣病予防等の健康づくり

1. 生活習慣病予防の推進

①健康の大切さを理解し、年に一度は健診を受ける

施策名		施策の方向性	
健康の普及啓発		<ul style="list-style-type: none"> ・若い年代層に対する健康診査の重要性の普及・啓発 	
1	具体的事業名	担当課	R1実績
	対象者への健診案内の郵送	健康課	実施
	保健事業等でのチラシ配布	健康課	実施
	広報紙、ケーブルテレビ	健康課	実施
施策名		施策の方向性	
受診率向上に向けた取組		<ul style="list-style-type: none"> ・未受診者の把握と受診勧奨 ・肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診他、各種検診の対象者への積極的な受診勧奨 	
2	具体的事業名	担当課	R1実績
	まちぐるみ総合健診 特定(基本)健診	健康課	3,737人
	ファミリーデー (健診時の託児)	健康課	34人
	肝炎ウイルス検診	健康課	189人
	骨粗しょう症検診	健康課	274人
	肝炎ウイルス検診(個別)	健康課	262人
	特定健診(個別)	保険医療課	159人
	人間ドック受診費用助成	保険医療課	202人
		<p>具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診の案内及び申込書を20歳以上の方の全世帯、国保加入の節目年齢に郵送した。 ・健診の必要性について、ライフステージに応じて、乳幼児健診や保健事業、成人式等のあらゆる機会を通じて啓発した。 ・広報紙やケーブルテレビ等を通じ、生活習慣病予防の大切さを啓発した。 <p>【今後の方向性】 啓発の継続実施</p>	
		<p>具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問診、診察、身体計測、尿検査、血圧測定、血液検査を実施し、血液検査では市独自に腎機能、貧血、血清尿酸、脂質の項目を追加した。 ・子育て世代が受診しやすくなるために、ファミリーデーとして4日間託児日を設定した。 ・40歳以上で、今までに肝炎ウイルス検診を受けていない方を対象に、B型及びC型肝炎ウイルス検査を実施した。 ・40、45、50、55、60、65、70歳の女性を対象に、かかとの骨の骨密度測定を実施した。 ・40、45、50、55、60、65、70歳の方を対象に、無料受診券を配布し、指定医療機関で、個別検診を実施した。 ・問診、診察、身体計測、尿検査、血圧測定、血液検査を実施し、血液検査では市独自に腎機能、貧血、血清尿酸の項目を追加した。 ・加東市国民健康保険加入者を対象に、人間ドック受診費用の一部を助成した。 <p>市独自の検査項目の追加や、託児日を設定するなど、健診を受診しやすい環境整備を図ることができたが、受診者数は年々減少傾向にある。</p> <p>【今後の方向性】 啓発の継続実施</p>	

②健診の結果により、生活習慣を改善し、必要な精密検査を受ける

施策名		施策の方向性	
生活改善に向けた指導の充実			
具体的事業名	担当課	R1実績	課題、今後の方向性等
健診当日保健指導	健康課	1,386人	健診当日に実施することで、個別相談等に参加されない方への指導を行うことができた。
健診結果個別相談会 医師講演会	健康課	相談 201人 講演会 120人	【今後の方向性】 今後も継続して事業を実施するとともに、健診データの改善につながる効果のある指導の充実に努める。
施策名			
精密検査の確実な受診			
具体的事業名	担当課	R1実績	課題、今後の方向性等
早期受診勧奨者への訪問、 電話勧奨	健康課	17人	【今後の方向性】 精密検査受診率のさらなる向上を図るため、今後も啓発に努める。
精密検査受診勧奨	健康課	実施	

③血圧計、体重計などを活用して、自分の健康状態をチェックし、主体的に健康づくりに取り組む

施策名		施策の方向性	
市民の主体的な健康づくりに向けた啓発			
具体的事業名	担当課	R1実績	課題、今後の方向性等
サンサンチャレンジ	健康課	233人 うち 新規59人	サンサンチャレンジ事業により、健康セルフチェックの啓発を実施できた。 3kg減量達成者は22.4%(41人/183人)で、開始時より減量できたものは、73.2%(134人/183人)で体重管理を身につけることができた。
サンサンカフェ	健康課	3回 32人	【今後の方向性】 今後も継続して事業を実施し、健康づくりの輪を広げていく。
健康手帳の交付	健康課	469人	

2. がんの早期発見と予防対策の推進

①がんの危険因子や症状を正しく理解する

施策名		施策の方向性	
知識の普及		<ul style="list-style-type: none"> 喫煙、過剰飲酒、低身体活動、肥満、やせ、野菜・果物不足、塩分・塩蔵食品の過剰摂取、がんに関するウイルスや細菌への感染など、がんの発症リスクを高める要因についての知識の普及 注意すべき自覚症状について啓発し、自覚症状がある場合は早期受診を勧奨 	
1	具体的事業名 保健事業でのチラシ配布 各種団体への啓発 広報、ケーブルテレビ	担当課 健康課 健康課 健康課	具体的な取組内容 R1実績 実施 実施 実施
			課題、今後の方向性等 【今後の方向性】 引き続き、啓発に努める。

②がんにつながる生活習慣を改善し、がんを予防する

施策名		施策の方向性	
発症予防			<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣の改善など、がんの予防を目的とした相談支援の実施
1	具体的事業名 健康展・ロビー展示 健診当日保健指導	担当課 健康課 健康課	具体的な取組内容 R1実績 実施 実施
			課題、今後の方向性等 【今後の方向性】 今後も、検診の機会や保健事業、イベントを通じて啓発に努める。

③がん検診の大切さを理解し、年に一度は検診を受け、早期発見に努める

施策名		施策の方向性	
がん検診の受診促進			<ul style="list-style-type: none"> がん検診の周知や体制の充実による受診率の向上に向けた取組みの強化 がん検診受診後の事後指導の徹底
1	具体的事業名 胃がん検診 胃の健康度子エック (ABC検診) 胸部検診(結核・肺がん・アスベスト) 大腸がん検診 前立腺がん検診	担当課 健康課 健康課 健康課 健康課 健康課	具体的な取組内容 R1実績 964人 460人 3,457人 2,935人 うち節目 550人 898人
			課題、今後の方向性等 まちぐるみ総合健診総受診者数の減少傾向に伴い、がん検診受診者数も年々減少傾向にある。 【今後の方向性】 引き続き、啓発に努め、受診率の向上が必要。 前立腺がん検診において、50、55、60、65、70歳の男性の受診料金を無料とし、前立腺がん検診の受診率向上に努める。

④女性特有のがんについて正しく理解し、乳がん自己検診や検診の受診により、早期発見に努める

施策名			施策の方向性
女性の乳がん検診の受診促進		<ul style="list-style-type: none"> 子宮頸がん、乳がんについての知識の普及・啓発 乳がん自己検診方法の知識の普及 	課題、今後の方向性等
具体的事業名	担当課	具体的な取組内容	
子宮頸がん検診(集団)	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・20歳以上の偶数年齢を対象に実施した。 	子宮頸がん集団検診の受診者数は431人で、前年度(449人)より受診者は減少した。
子宮頸がん検診(個別)	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・個別検診は、加東市民病院で実施した。 	健診機会を通じて、知識の普及啓発ができた。検診受診率のさらなる向上が必要。
子宮頸がん検診(クーポン) (集団・個別)	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・特定年齢の方に協力医療機関での個別検診、または集団検診を実施した。 	国の指針に沿って、令和元年度から乳がん検診の検査項目が問診とマンモグラフィ検査のみに変更したため、自己触診法の啓発が必要。
乳がん検診(集団)	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・40歳以上の偶数年齢を対象に実施した。 	【今後の方向性】 検診での啓発を継続するとともに、市民全体に幅広い啓発を実施していく。
乳がん検診(個別)	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・個別検診は、加東市民病院で実施した。 	若い世代の方の子宮頸がん検診の受診率向上のため、検診日に託児を継続して実施する。
乳がん検診(クーポン) (集団・個別)	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・特定年齢の方に協力医療機関での個別検診、または集団検診を実施した。 	自己触診法について、検診受診者に個別指導を実施。また、イベント時に啓発に努める。
乳がん自己触診法の普及	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・健康展で乳がん啓発コーナーを設置した。 ・検診会場で自己触診法を指導した。 	

⑤精密検査が必要と判定された場合は、早期に精密検査を受ける

施策名			施策の方向性
精密検査の確実な受診		<ul style="list-style-type: none"> ・要精密検査者へ早期の精密検査受診の勧奨 ・精密検査未受診者に対する文書、電話、訪問等を通じた受診の勧奨 	課題、今後の方向性等
具体的事業名	担当課	具体的な取組内容	
精密検査受診勧奨	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・精密検査受診勧奨についてケーブルテレビで啓発した。 	【今後の方向性】 要精密検査者が確実に受診につながるよう、精検未受診者への受診勧奨(文書、電話、面接等)を継続して実施する。
要精密者訪問・面接・電話	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診要精密者に対して、電話や訪問等で受診勧奨を行った。 	
要精密未受診者勧奨通知	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・各種がん検診の要精密未受診者に対して、郵送で受診勧奨を行った。 ・国立がんセンターの受診勧奨企画により、大腸がん検診未受診者に再通知を行った。 	

3. 生活習慣病の重症化予防

①循環器疾患、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、慢性腎臓病、糖尿病、CKD（慢性腎臓病）等について正しく理解する

施策名		施策の方向性	
発症予防		<ul style="list-style-type: none"> 医療機関、関係機関、団体と連携し、危険因子（高血圧・脂質異常・高血糖・喫煙）の管理についての正しい知識の普及・啓発 特定健診、特定保健指導の受診率向上に向けた取組みの強化 COPD（慢性閉塞性肺疾患）に対する知識の普及 CKD（慢性腎臓病）発症予防を目的とした、生活習慣改善のための相談支援の実施 	課題、今後の方向性等
1	具体的事業名 健診当日保健指導 健診結果個別相談会 特定保健指導 健康展 慢性腎臓病啓発コーナー 肺年齢測定 COPD啓発	担当課 健康課 健康課 保険医療課 健康課 健康課 健康課	具体的な取組内容 <ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導は、特定健診受診者で、国民健康保険被保険者を対象に実施した。 腹囲、BMIを基準に追加リスクにより、動機づけ支援（初回面接と評価）、積極的支援（初回面接、継続的支援、評価）対象者に分けて、生活習慣改善指導を行った。 特定保健指導の対象者に、健診結果個別相談会への来所を電話勧奨した。 NPO兵庫県腎友会会員に従事していただき、腎臓病の予防や腎臓病の食事などのパンフレットを配布した。 健診結果個別相談会（社会場）や健康展の会場において肺年齢測定を行った。また、希望者には禁煙相談を行った。 肺年齢測定や禁煙相談と合わせて、個別に禁煙やCOPDについて啓発した。
			【今後の方向性】 重症化を予防するため、引き続き、健診結果を活用した指導や、イベント機会の啓発を継続して実施していく。

②ライフステージに応じた生活習慣病の予防や早期受診、治療の継続を行うことで、重症化を防ぐ

施策名		施策の方向性	
重症化の予防		<ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医を持つことの重要性や適正な受診（医療中断防止）についての普及・啓発 まちぐるみ総合健診の要精密検査者、要医療者に対する家庭訪問、電話等による受診勧奨 かかりつけ医との連携による個別保健栄養指導の実施 特定保健指導の支援レベルに応じた、具体的な情報提供や行動変容につながる継続的な支援の実施 セルフケアの推進と個別やグループでの支援 医療機関受診に支援が必要な方の把握や支援 	課題、今後の方向性等
1	具体的事業名 慢性腎臓病ハイリスク者個別指導 血圧高値者個別指導 血糖高値者個別指導	具体的な取組内容 <ul style="list-style-type: none"> 新たな人工透析者の減少を目指して、まちぐるみ総合健診受診者のうち、慢性腎臓病のハイリスク者を対象に、訪問等による保健・栄養指導を行った。 まちぐるみ総合健診会場で、血圧高値者を対象に、血圧アドバイスを実施した。 まちぐるみ総合健診会場で、血糖高値者を対象に個別相談を実施した。 	【今後の方向性】 健診機会を生かした指導や健診結果に基づく指導を継続して実施していく。

施策名		施策の方向性		
地域保健体制の推進		・健康福祉事務所、医師会などの関係機関が開催する会議や地域医療連絡会等を通じたネットワークの推進 ・救急医療体制の広報・啓発		
具体的事業名	担当課	R1実績	課題、今後の方向性等	
地域医療連絡会	健康課	実施		
健康づくり推進協議会	健康課	1回	【今後の方向性】 令和2年度から内科系週日時間外診療は中止する。 休日救急医療は下記に変更をして実施する。 ○土曜日：午後1時から午後5時まで内科系診療 ○日曜、祝日、年末年始：午前9時から午後5時まで内科系、 外科系診療	
平日・時間外救急・休日診療	健康課	実施	具体的な取組内容 ・小野市・加東市医師会、行政関係課との連絡調整会を年1回、2月に実施した。 ・保健医療関係者、関係行政機関代表、地区組織団体代表、教育委員会関係、事業所等代表者、学識経験者で健康づくりに関する協議を行った。 1. 休日診療状況 全受診者数 3,204人 (内訳)ア. 小野市・加東市内受診者数 2,628人 イ. その他の地域からの受診者数 575人 2. 内科系週日時間外診療状況 全受診者数 674人 (内訳)ア. 小野市・加東市の受診者数 595人 イ. その他の地域からの受診者数 79人	

第2章 将来を担う次世代の健康と生涯現役社会づくり

1. 妊産婦や乳幼児期からの健康づくりの推進（加東市母子保健計画）

① 妊産婦が安心して自分の望む妊娠・出産期を過ごすことができる

施策名		施策の方向性	
1	具体的事業名	担当課	R1実績 母子健康 手帳361人 祖父父母 手帳324人
	妊産婦や父親への支援		<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産・育児期における母子保健対策の充実 ・妊娠中から育児に関する正しい知識・技術・啓発する準備支援 ・父親の子育て力の向上を図り、両親による子育て意識の醸成 ・各事業間や関連機関の連携体制の強化による、切れ目のない支援体制の構築
	母子・父子健康手帳交付 祖父父母手帳交付	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師による面接を来所者全てに実施し、一人ひとりに合った妊娠中のプランを立案した。 ・祖父父母へ育児情報を提供し協力を促進するため、祖父父母手帳を交付した。
	妊婦健康診査費助成事業	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期をより健やかに過ごしていただくため、妊婦健康診査費用を上限10万円として助成した。
	特定妊婦不妊治療費助成事業 不育症治療費助成	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するため、治療に要する費用を助成した。 ・不育症の検査・治療にかかる費用の助成を行い、助成制度の周知に努めた。
	新生児聴覚検査費助成	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれつき聴覚に障害のある乳児を早期に見出し、適切な治療につなげるため新生児聴覚検査費用を全額助成した。
	パパママクラス	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦体験を通して父親に妊婦の大変さを感じてもらい、妊娠中や産後の家事、育児参加へのきっかけとなるように働きかけた。 ・個々の不安にも丁寧に対応し、妊婦の不安軽減に努めた。
	妊娠・出産・子育て安心パートナー事業	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産・子育て安心パートナーを配置し、妊娠期から出産・子育て期へと、切れ目のない支援が行えるよう努めた。
	母子訪問	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・児の成長発達の確認、母親の体調確認や育児支援等を行った。
	母乳相談	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・助産師による母乳相談を実施し、授乳や乳児の体重増加などの個別相談等支援を行った。
	産後ケア費用助成	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・育児不安が強く、支援を必要とする方、家族や周囲から産後に十分な援助が受けられない方に対し、産後ケア（宿泊型）費用の助成を実施し、産婦の休息を図ったり、育児技術の習得が行えるよう支援した。 ・授乳等で不安を感じている方に対し、医療機関等で受ける乳房ケアサービスの費用を助成した。
2			<p>【今後の方向性】</p> <p>引き継ぎ、一人ひとりに応じたきめ細やかな支援を実施していく。特に関係機関との連携強化による、重層的な支援が望まれる。また、令和2年度から産婦健康診査費用の助成や母子手帳アプリの導入により、安心して出産・育児ができる体制づくりを行っている。</p>

②子どもの健やかな成長発達や望ましい生活習慣を育む

施策名		施策の方向性	
子どもの健やかな成長への支援		<p>・妊婦の喫煙、飲酒などのリスクや子どもの受動喫煙に関する十分な情報提供および指導</p> <p>・子どもの成長発達の確認を行うとともに、相談の場や保護者の育児能力向上への支援</p> <p>・「早寝 早起 朝ごはん」運動の普及による、子どもが健やかに成長できる環境づくりの推進</p> <p>・乳幼児健診、教室時や保育所などを通じた、家庭での正しい食習慣定着への指導</p>	
具体的事業名	担当課	R1実績	課題、今後の方向性等
親子でほっとらんど	こども教育課 児童館	乳児 37人	・乳児とその保護者を対象に手遊びやふれあい遊び、絵本の読み聞かせなどを行い交流を深めた。
乳幼児健診(4か月健診)	健康課	279人 * 受診率 98.6%	・4か月児、1歳6か月児及び3歳児健診を実施し、疾病や発達の遅れ等の早期発見及び健やかな成長に向けて、育児の支援を行った。
乳幼児健診(1歳6か月児健診)	健康課	314人 * 受診率 95.7%	・未受診者に対しては、電話や訪問で受診勧奨を行い、対象者の全数把握に努めた。
乳幼児健診(3歳児健診)	健康課	330人 * 受診率 97.6%	
離乳食もぐもぐ教室	健康課	89人	・月に1回、4～6か月児の保護者を対象に離乳食の作り方や進め方の講話と実習を実施した。
10か月児相談	健康課	300人 * 参加率 98.7%	・児の動きが活発になる時期であり、運動発達の確認を行ったり、離乳食後期の試食や指導を行った。
2歳児育児教室	健康課	273人 * 参加率 88.1%	・母子保健推進員によるミニ講話や子どもの視野体験などを実施し、事故予防の啓発に努めた。
子育て何でも相談	健康課	654人	・食べられる物の種類が増え、むし歯になりやすいこの時期に、食事やおやつの振り方・歯科衛生士によるブラッシング指導を行った。
	健康課		・就学前までの子どもの保護者を対象に、身体測定、保健師や栄養士が育児・食事の相談を行いました。年に3回は歯科衛生士による歯科相談を実施し、う歯予防の啓発に努めた。
こどもさんさんチャレンジ (早寝早起き朝ごはん)	健康課	年長児295人 回収率 84.3%	・保育所、幼稚園及び認定こども園との連携を図り、子どもが健やかに育つ環境づくりとして、年長児を対象に「早寝早起き朝ごはん運動」を実施した。
			・3週間の取組状況や親の感想などの記録表(チャレンジシート)を配付、回収した。
			・市内の小中学校へも波及し、チャレンジした。
			健診未受診者への電話連絡や訪問等による受診勧奨・状況把握を行っているが、連絡がとりにくく、くり返しのアプローチや時間外での対応など時間を要する。
			【今後の方向性】 引き継ぎ、受診率の向上に向けて健診、教室、相談の啓発、勧奨を行うっていく。 健診未受診者については、本人確認を含め、受診勧奨を行う。

施策名		施策の方向性	
支援が必要な子どもも育てにくさを感じる親への寄り添う支援	具体的な事業名	担当課	R1実績
	養育支援ネットによる支援	健康課	37人
	保育所等巡回相談	発達サポートセンター	(定期)16回 110人 (個別)15回 37人
	子どもの発達・何でも相談	発達サポートセンター	延人数 297人
	ナーサリールーム	発達サポートセンター	実人数 16人 延人数 191人
	乳幼児電話相談	健康課	947人
	5歳児発達相談	健康課	325人 うち新規相談 6人 回収率 100%

2

③保護者が子どもの事故防止、適正な医療受診を行う

施策名		施策の方向性	
小児救急医療体制の啓発	具体的な事業名	担当課	R1実績
	乳幼児健診時の啓発	健康課	実施
	新生児訪問時の啓発	健康課	実施

1

④思春期の子どもも健やかな生活習慣を身につけ、次世代の親へと成長する

施策名		施策の方向性	
思春期保健の充実	具体的な事業名	担当課	R1実績
	高校への授業	健康課	実施
	健全な性教育の普及	学校教育課	実施
	スクールカウンセラーの配置	学校教育課	実施

1

・先天性疾患、未熟児、発達面など特に支援が必要とされる子どもとその家庭に対する相談や訪問
・医療機関や子育て関係機関等との情報共有、連携による支援

具体的な取組内容
・産科医療機関等との連携により、未熟児等ハイリスク児や養育支援を必要とする家庭への支援を行った。

・年1回発達サポートセンター職員が各園を巡回し、年長児と各園で対応の共通認識をした児の観察を行い、相談及び助言を行った。
・保育所及び小中学校等から支援が必要な児の関わり方等について相談があったケースに対し、北はりま特別支援学校コーディネーターと共に訪問し、児の観察及び助言を行い、必要な場合は発達相談につなげた。

・言語・運動発達をばじめ『落ち着きがない』『学習についていけない』『友達とのトラブルが多い』などの相談に対し、専門家による相談・発達検査等を実施した。

・早期に小集団に入ることが望ましい児を対象に、療育教室を実施した。月2回、子ども自身の発達を促せるよう、からだを使った遊びや手先を使う工作等を行った。

・育児や子どもの成長・発達や、健診・予防接種のこと等について電話で相談に応じた。

・5歳になる子どもの保護者を対象に、保育園、認定こども園及び幼稚園を通じたアンケートを実施し、集団生活や対人関係における課題等を把握するとともに、子育ての困難感や悩みについて支援した。

課題、今後の方向性等

発達サポートセンターと連携を図り、支援が必要な児のフォローができた。
養育上の支援が必要なケースに外国人家庭があると、対応に時間を要する。

【今後の方向性】
関係機関との連携を密にし、切れ目のない支援を行う。

施策の方向性

・乳幼児健診時におけるリーフレットの配付や育児指導、ポスター掲示など、さまざまな機会を通じた誤飲や転落等の乳幼児の事故防止に関する啓発

・小児救急(夜間・休日)の上手なかかり方の啓発

・小児救急医療相談センター(兵庫県・北播磨圏域)の利用についての普及・啓発

具体的な取組内容

各種健診・相談時に事故防止のリーフレットを配付し、啓発に努めた。

新生児訪問時に事故防止のリーフレットを配付するとともに、子ども医療電話相談(＃8000)を啓発した。

課題、今後の方向性等

【今後の方向性】
継続実施する。

施策の方向性

・望まない妊娠の予防や性感染症等の正しい知識の普及
・喫煙、飲酒、過激なダイエットのリスクなどに関する正しい知識の普及
・スクールカウンセラーの配置などによる子どもたちの問題についての支援
・赤ちゃん人形や、妊婦体験グッズを利用した学習機会の充実
・中学校の総合的な学習の時間や原簿等で乳幼児とふれあう機会を設ける

具体的な取組内容

・高校の授業の中で妊婦体験や、赤ちゃん人形の抱っこ等を実施した。

・主として、保健の授業や学級指導の時間等において、児童生徒の実態に応じた性教育の学習を行った。

・児童生徒の心理に関する支援のため、スクールカウンセラー5名を配置し、市立全小中学校に計画的に派遣して、カウンセリング等を行った。

課題、今後の方向性等

【今後の方向性】
小中学校では、異性を尊重し、性に関する適切な態度や行動の選択ができるよう発達段階に合わせた性教育を行う。

⑤子どもの健やかな成長を地域全体で見守り育む

施策名		施策の方向性	
地域全体で子どもの健やかな成長を見守り・支える、孤立させない地域づくり			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域のさまざまな実態や地域の子育てに関する情報の啓発 ・育児の負担を感じる親や、子どもの発するさまざまなサインのキャッチとそれに伴う支援へのコーディネート ・母子保健推進員活動の充実 			
具体的事業名	担当課	R1実績	具体的な取組内容
母子保健連絡会	健康課	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の発育発達に関する問題を把握、検討し、母子保健事業を円滑かつ効果的に推進するために、教育委員会、保育園、幼稚園、その他母子保健関係機関職員と連絡会を開催した。 ・乳幼児の事故予防対策について研修とグループワークを行った。
母子保健推進員連絡会	健康課	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健推進員は、親子の健康保持増進等のため活動を行いました。(14名) ・活動の連絡調整のため、会議を開催した。
母子保健事業従事者連絡会	健康課	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健事業従事者とともに、事業運営の向上を目指し、実績報告や意見交換を行った。新しい知識や必要なスキルの習得を目的に開催した。
こども発達支援連絡会	発達サポートセンター	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から成人までそれぞれのライフステージに応じた適切で一貫した支援を行うため、関係機関等による情報交換、連携の強化及び支援体制の構築を図ることを目的に開催した。
サポートファイル作成	発達サポートセンター	441人	<ul style="list-style-type: none"> ・就園・就学・進学を控えた個別支援の継続が必要な早や生徒を対象に、これまでの様子や支援方法をまとめたものを作成し、学校の担任等、次に関わる関係者に引き継いだ。
健康展	健康課	513人	<ul style="list-style-type: none"> ・元氣応援隊が従事し、「手洗いチェック」を行った。
主任児童委員会懇談会	福祉総務課	3地域 9回	<ul style="list-style-type: none"> ・社・溝野、東条の地域ごとに、乳幼児健康診未受診者など、地域でのつながりや見守りが必要な家庭について、情報共有を行った。
<p>⑥虐待リスクの高い親子が早期に発見され、関係機関の連携支援により、虐待の未然防止を図ることができる</p>			
施策名		施策の方向性	
虐待予防対策			
<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付時の面接や両親学級(パパママクラス)、妊婦訪問などの虐待予防対策の充実 ・医療機関との連携のもと、養育支援ネットを通じた育児不安や産後うつ等、虐待のリスクに対する早期把握 ・早期支援の徹底 ・出産後の赤ちゃん訪問の全数実施 ・虐待防止の意識啓発 ・健診時や保育所、幼稚園等における虐待やその予備軍の早期発見 ・虐待リスクのある保護者の不安軽減や育児能力向上への支援 			
具体的事業名	担当課	R1実績	具体的な取組内容
子育て支援プラン検討会	健康課	11回 検討数 133人	<ul style="list-style-type: none"> ・出産前から支援を行うことが特に必要と認められる妊婦や、養育に問題のある家庭に対し、福祉総務課と今後の支援方法について検討や、情報交換を行った。
母子訪問(乳児家庭全戸訪問)	健康課	302人	<ul style="list-style-type: none"> ・生後4か月を迎えるまでの乳児のいる家庭を対象に訪問を行いました。長期里帰りや出産後間もなく転出など訪問ができないケースについても状況を確認した。
要保護児童対策地域協議会	福祉総務課	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待、非行及び不登校などの要保護児童に関する情報交換を行い、要保護児童やその保護者に対する支援内容を協議した。
<p>【今後の方向性】 引き続き実施する。様々な問題が重複しているケースには関係機関との連携強化をしていく必要がある。</p>			

2. こころの健康づくり

① こころの健康づくりやうつ病予防について理解し、セルフコントロール、ストレス対処法を身につける

施策名		施策の方向性	
<p>こころの健康づくりの啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やケーブルテレビ、インターネットを活用した、こころの健康問題の重要性等の情報提供 ・各地でのうつ、自殺の予防、上手なストレスへの対処法などをテーマにした、こころの健康教育の実施 ・こころの不調への気づきやそれに対する適切な対応のためのストレスチェックの普及 ・うつ病の認識や不調を感じた際の医療機関への受診など、ライフステージに応じたこころの健康に対する知識の普及・啓発 			
1	<p>具体的事業名</p> <p>広報・ケーブルテレビ</p> <p>こころの体温計</p> <p>こころの相談窓口の啓発</p>	<p>担当課</p> <p>健康課</p> <p>健康課</p> <p>健康課</p>	<p>具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やケーブルテレビ等を通じ、自殺の減少を目的に、「いのち」を大切にすることの健康づくりの大切さを啓発した。 ・自殺対策予防週間や自殺対策強化月間に啓発を行った。 ・ホームページ上にメンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」を設置した。 ・こころの健康ホットダイヤルを掲載したチラシを作成し配布した。 ・若い世代がアクセスし、相談窓口を知ることができるよう、母子保健事業や保育園等にも配布した。 ・各種団体や各種講演会開催時に啓発用チラシ等を配布した。 ・まちぐるみ総合健診申込書にこころの相談窓口について掲載し、20才以上の全世代に配布した。 <p>【今後の方向性】 適切な相談窓口につながるようチラシの作成、配布を継続していく。</p>

② こころの健康についての悩みを気軽に相談し、早期に支援を受けることができる

施策名		施策の方向性	
<p>相談体制に充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期、妊産婦や子育て世代の相談支援 ・児童・生徒に対する学校の相談体制の充実 ・市民が利用できる市内外のこころの健康に関する相談窓口の周知 			
1	<p>具体的事業名</p> <p>妊産婦・新生児訪問</p> <p>こころの健康ホットダイヤル</p> <p>産後ママのリフレッシュ講座と相談会</p> <p>こころの健康づくりネットワーク会議</p>	<p>担当課</p> <p>健康課</p> <p>健康課</p> <p>健康課</p> <p>健康課</p>	<p>具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エジンバラ産後うつ質問票 (EPDS) 等を活用し、保健師が訪問時にうつ傾向にある産婦をスクリーニングし、支援した。 ・こころの健康について、悩みや不安のある人からの電話相談を行った。 ・希死念慮が確認できた場合には、加東健康福祉事務所と連携を図り、検討会を開催するなど、技術支援を受けた。 ・保健師による「メンタル面でのセルフケア」についての講話とグループワーク、ハンドマッサージ、相談会を行った。 ・生活問題、就労問題、子育て支援等についての総合相談会を同時に開催することで、早期に支援者につながる機会となった。 ・自殺対策を効果的に実施、推進するための庁内連携の組織による会議を実施した。 ・「自殺の現状とゲートキーパーの役割について」「基本的スキルを身につける」と題して、庁内会議委員を中心に研修を行った。 <p>【今後の方向性】 庁内会議で、悩みのある人に気づき、声をかけ、適切な支援につなげるため、今後も研修、相談体制を継続実施し、相談体制の充実に努める。</p>

③働く世代が悩みを気軽に家庭や職場、地域に相談し、うつや自殺を予防する

施策名		施策の方向性	
うつ・自殺予防対策		<ul style="list-style-type: none"> 働き盛りの男性に対する、職場や民生児童委員などの身近な地域の相談体制の充実による、こころの健康に関する悩みの早期発見・支援 孤立化を防ぐために、職場や身近な地域で日頃から気軽に相談する習慣や、支え合える仲間づくりの大切さの周知 	
1	具体的事業名 うつ、自殺未遂者への相談支援 ゲートキーパー研修 (こころの健康づくり企業研修)	担当課 健康課 健康課	R1実績 実施 49人
具体的な取組内容 ・関係機関の主催するケース検討会に参画し、連携して支援を行った。 ・加東健康福祉事務所、医療機関との連絡調整を行った。 ・企業向けゲートキーパー研修(企業人権教育協議会研修会)を行った。 ・内容は、保健師による講話「見逃さないこころのサイン～大切な命を守るためにあなたがたができること～」、及び、実技「心と体がよみがえるヨガ」		課題、今後の方向性等 【今後の方向性】 今後も働く世代の自殺対策として、人権協働課との連携により、企業向けの研修を実施していく。	

④こころの健康についての悩みの相談やうつや自殺予防などに對して、地域での適切かつ継続的な支援を受けられることができる

施策名		施策の方向性	
地域のネットワークの構築		<ul style="list-style-type: none"> 市民が気軽にこころの悩みが相談できるための、市や健康福祉事務所などにおける人材(保健・医療・福祉・事業所等関係者)の資質向上 地域や学校、職場、行政における「周囲の人の悩みに気づき、こころの健康を支える人材(ゲートキーパー)」の養成研修の実施 健康福祉事務所や医療・福祉機関、事業所など関係機関との連携強化による、自殺予防対策の充実 	
1	具体的事業名 ゲートキーパー研修 (こころの健康づくりネットワーク 研修) ゲートキーパー研修 (こころの健康づくり企業研修) 【再掲】 こころの健康づくりネットワーク会 議	担当課 健康課 健康課 健康課 健康課	R1実績 54人 49人 3回 1回 19人
具体的な取組内容 ・民生児童委員、婦人会、いずみ会等各種団体リーダー、市民、庁内会議委員を対象にゲートキーパー研修を行った。 ・テーマ『あなたたは地域のこころの門番～自分も周りも大切に～』 ・悩みを抱える方への対応の仕方や予防方法について学ぶことができた。 ・企業向けゲートキーパー研修(企業人権教育協議会研修会)を行った。 ・内容は、保健師による講話「見逃さないこころのサイン～大切な命を守るためにあなたがたができること～」、実技「心と体がよみがえるヨガ」 ・庁内連携会議を年3回開催し、加東市自殺対策計画策定のための事業の整理等を行った。 ・加東市の現状、課題、計画の内容を各都局長で共有した。		課題、今後の方向性等 【今後の方向性】 市民向け、企業向け研修を継続して実施し、ゲートキーパーの養成に努める。 庁内会議の開催により、自殺対策に関する情報の共有とネットワークの強化に努める。 庁内のネットワークのさらなる強化のため、市長を本部長とし、庁内各都局長で構成する「加東市自殺対策推進本部」において、自殺対策の総合的な推進を図る。	

3. 高齢者への介護予防の推進

① 高齢者がいきがいを持って就労や趣味活動、ボランティア活動ができる

施策名		施策の方向性	
<p>高齢者のいきがいがいづくりの促進</p> <p>・シルバー人材センターや社会福祉協議会による、就労やボランティア活動への相談支援やコーディネート ・趣味や健康づくりに気軽に参加するための地域活動支援 ・いきがいや仲間づくりを支援するため、生涯学習・スポーツ活動の活性化や交流機会の充実</p>			
1	<p>具体的事業名</p> <p>高齢者大学</p>	<p>担当課</p> <p>生涯学習課</p>	<p>R1実績</p> <p>実人数 322人 延人数 1413人</p>
	<p>具体的な取組内容</p> <p>・健康や身の回りの安全、防災、ニュースポーツ、国際交流などの講座を実施し、生涯にわたる学習の機会と高齢者同士の交流の場を提供した。 ・後期高齢者医療保険加入者については、無料で実施した。</p>	<p>課題、今後の方向性等</p> <p>【今後の方向性】 地域支援活動等を今後も継続して実施していく。</p>	

② 自ら要介護状態となることを予防し、健康の維持・増進に取り組む

施策名		施策の方向性	
<p>介護予防の充実</p> <p>・生活習慣の改善などの健康に関する相談および必要な栄養指導や保健指導の実施 ・口腔機能の向上を目的とした、歯周疾患検診や介護予防事業などの実施 ・要支援認定の原因として多い、下肢や膝・腰などの運動機能の低下予防についての普及・啓発</p>			
1	<p>具体的事業名</p> <p>歯周病検診</p> <p>地域健康サロン</p> <p>介護予防サポーター</p>	<p>担当課</p> <p>健康課</p> <p>健康課</p> <p>高齢介護課</p>	<p>R1実績</p> <p>実施</p> <p>4回 76人 シニア 4回 84人</p> <p>5回 77人</p>
	<p>具体的な取組内容</p> <p>・まちぐるみ総合健診会場において、検診を実施した。 ・地域で高齢者がいきいきと過ごせるために、介護予防、健康づくりの講話及び健康チェック、調理実習等を行った。 ・介護予防サポーター養成講座を開催し、活動の場の提供を行った。</p>	<p>課題、今後の方向性等</p> <p>【今後の方向性】 フレイル予防、口腔機能向上を目的とした事業を、今後も継続して実施していく。</p>	

③地域のあらゆる人々が、高齢者を支え、介護予防を実践する

施策名		施策の方向性	
地域の介護予防の促進			
<ul style="list-style-type: none"> 閉じこもりや孤立化予防のための、地域交流や声かけ、見守りができる地域づくりの推進 介護予防事業を地域において展開する自主的なグループづくりへの支援 介護予防の輪を広げるための、いきいきサロンやシニアクラブ活動など地域活動への参加促進 			
1	具体的事業名	担当課	R1実績
	かとうまちかど体操教室	高齢介護課	実施会場 82か所 うち新線 1か所
	いきいきサロン、シニアクラブ活動	社会福祉協議会	実施
		具体的な取組内容	課題、今後の方向性等
		<ul style="list-style-type: none"> かとうまちかど体操教室の未実施地区に対する普及啓発及び実施地区の継続運営支援を行った。 いきいきサロンでは、各地域での推進方法に沿いながら、楽しく心身機能の維持にむつながるよう支援を行った。 シニアクラブ活動においては、活動継続が図れるよう業務支援を行った。 	<p>【今後の方向性】</p> <p>かとうまちかど体操教室：継続実施のためのサポート。いきいきサロンについては、人と人とのつながりの機会となるよう、活動の継続と地域の推進方法を理解し支援していく。</p> <p>シニアクラブ活動では、団体活動の目的が達せられ、ひいては介護予防活動の推進につながるよう業務支援を行っている。</p>

④認知症について理解を深め、認知症の人や家族が安心して暮らすことができる

施策名		施策の方向性	
認知症の人や家族への支援			
<ul style="list-style-type: none"> 認知症についての正しい知識の啓発、認知症の人と家族を理解し支える認知症サポーターの育成 地域包括支援センターや医療機関等関係機関とのネットワークによる相談窓口等支援体制の充実 高齢者の入院(所)・退院(所)・在宅を通じた切れ目ない保健福祉医療サービスを受けることができる、地域包括ケアの推進 			
1	具体的事業名	担当課	R1実績
	認知症タッチパネルチェック	高齢介護課	573人
	地域ケア会議	高齢介護課	実施
		具体的な取組内容	課題、今後の方向性等
		<ul style="list-style-type: none"> まちぐるみ総合健診会場等において、物忘れ相談プログラムを実施し、軽度認知障害の早期発見、早期支援に取り組んだ。 地域ケア会議での検討を通じて、個別支援の取組を重ね、地域の実情に応じたネットワークの構築を進めた。 認知症になっても住み慣れた地域で安心して自分らしい生活が送れるように、見守り、支える人を増やした。 <p>(認知症サポーター総数5,557人R2.3末現在)</p>	<p>認知症の早期発見・早期受診の啓発に取り組んでいるが、認知症状が進んでからの相談が多い。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>認知症の早期発見・早期支援の取り組みを引き続き行うとともに、認知症相談センターなどとのネットワークを活用していく。</p>

第3章 栄養・運動・休養・飲酒・喫煙および口腔に関する生活習慣の改善

1. 栄養・食生活（加東市食育推進計画）

①栄養バランスのとれた食事や野菜を摂取することの大切さへの理解を深める

施策名		施策の方向性	
<p>健康で正しい食生活に関する情報提供 ・広報紙やケーブルテレビを活用した、簡単野菜レシピや適塩メニューなどの具体的な役に立つ食の情報提供 ・「食事バランスガイド」「食生活指針」「日本人の食事摂取基準」等に基づく、栄養相談・指導の実施 ・リーフレット等の配布等を通じた、市民の食育に対する意識の啓発 ・食習慣において特に課題が多い20～30歳代や男性に対する、健康や食生活に関する学習機会の提供</p>			
1	<p>栄養バランスのとれた食事等に関する普及・啓発</p> <p>具体的事業名 まちぐるみ総合健診時 栄養指導 健診結果個別相談会 訪問栄養指導 加東サンサンチャレンジ食事講座 ケーブルテレビ料理番組 かつう3分クッキング</p>	<p>担当課 健康課 健康課 健康課 健康課 健康課 健康課</p>	<p>課題、今後の方向性等</p> <p>【今後の方向性】 課題が多い若い世代へのアプローチが必要であり、引き続き様々な機会で開催に努めていく。</p>
<p>具体的な取組内容 ・まちぐるみ総合健診会場で栄養士が個別相談を実施した。 ・栄養士が健診結果の説明、個別相談を実施した。 ・対象者宅へ訪問し、改善目標を立て、改善できるように支援を行った。 ・サンサンチャレンジ協賛店より講師を招き、バランスのとれた食事の重要性や食物繊維の効果について、調理実習を交えた講座を実施した。 ・いずみ委員会が季節の食材を使った家庭料理を考案し、KCVの協力のもと、料理番組を制作し放映した。</p>			

②子どもや保護者が食育の重要性や知識を認識・習得し、家庭で実践する

施策名		施策の方向性	
<p>保育所や学校等との連携による、保護者や子どもを対象とした望ましい生活習慣や食べ物の働きについての講座、料理教室等の食育活動の展開 ・望ましい食品の選び方、組み合わせ方の習得の推進 ・発育・発達段階に応じた、正しい食習慣に関する情報提供</p>			
1	<p>正しい食習慣の定着への支援</p> <p>具体的事業名 パパママクラス【再掲】 離乳食もぐもぐ教室【再掲】 子育て何でも相談【再掲】 4か月児健診【再掲】 10か月児相談【再掲】 1歳6か月児健診【再掲】 2歳育児見教室【再掲】 3歳児健診【再掲】 食育ばくばく教室 シニア料理教室</p>	<p>担当課 健康課 健康課 健康課 健康課 健康課 健康課 健康課 健康課 健康課 健康課</p>	<p>課題、今後の方向性等</p> <p>【今後の方向性】 引き続き各教室・相談を通して、世代に合った指導を行い、健全な食習慣の推進を實踐する。</p>
<p>具体的な取組内容 ・妊娠中の食事についての講話や不足しやすい栄養素を含む食材を使用した試食を提供しました。試食はいずみ会と協力し、実施した。 ・月1回、4～6か月児の保護者を対象に、離乳食の進め方の講話ならびに調理実習（いずみ会と協力）を実施。また必要に応じ、個別相談を実施した。 ・栄養、食事についての講話と個別相談を実施した。 ・離乳食の必要性や進め方の講話と個別相談を実施した。また、離乳食を始めるにあたり、だし昆布を配付し、離乳食の必要性の理解と開始の意識づけを行った。 ・離乳食の進め方の講話や試食の提供、個別相談を実施した。 ・栄養、食事についての個別相談を実施した。 ・講話（2歳児の食事とおやつのはり方について）、個別相談を実施した。 ・栄養、食事に対する個別相談を実施した。 ・認定こども園、保育園、児童館でいずみ会と協力し、紙芝居、エプロンシアターなどの媒体を使用し、食の大切さを伝える食育教室を実施した。 ・親子クッキングでは、親子で楽しみながら実習を行い、食への理解を促した。 ・地区公民館でいずみ会と協力し、実施した。 ・低栄養予防、高血圧予防、和食推進などの講話と季節やテーマに応じた調理実習を行った。</p>			

③食生活改善推進員協議会(いずみ会)や関係機関などが連携し、活発な地域の健康づくり活動を展開する

施策名		施策の方向性	
食生活改善推進員協議会(いずみ会)活動の充実		いずみ会活動における必要な知識の習得を目的とした、定期的な研修や情報提供 いずみ会活動や学校、関係団体との連携のもと、食育の日(毎月19日)や地産地消による家庭料理の普及	
1	具体的事業名 会員研修	担当課 健康課	R1実績 6回 162人 自主活動 5回 32人
具体的取組内容		課題、今後の方向性等	
<ul style="list-style-type: none"> 料理教室や運動、移動研修会、自主活動等を実施して情報収集や知識の習得を行った。 地域での活動時に必要な知識などを学習し、会員同士の交流する機会とした。 		【今後の方向性】 引き続き活動支援を実施する。	
施策の方向性			
関係機関、関連事業との連携強化			
具体的事業名	担当課	R1実績	課題、今後の方向性等
加東市学校食育推進会議 加東市食育推進委員会	学校教育課	各2回 87人	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育課、各小中学校、武庫川女子大、学校給食センター、いずみ会、JAみのり、連合PTA、社高校、健康課、農政課職員で開催した。 食育の状況と課題について報告し、学校、関係機関、地域の共通理解をし、食育推進に関する情報交換を行った。
小学生チャレンジスクール	生涯学習課	1回 29人	<ul style="list-style-type: none"> 小学生を対象に、おやつづくり教室をいずみ会と協力して実施。手軽に自宅で作れるメニューを取り入れた。
オープンスクールのクッキング	学校教育課	2回 30人	<ul style="list-style-type: none"> オープンスクールの時に保護者対象の料理教室をいずみ会と協力して実施した。だしを使ったメニューを取り入れ、和食を通じて食への関心を高めた。 実施校：社小12人、滝野東小18人 テーマ：「和食の良さを味わおう」 旬の食材を使った料理・地産地消
小学生食育教室	学校教育課	5回 132人	<ul style="list-style-type: none"> 「すがたをかえる大豆」の授業の一環で、小学3年生を対象に、自分たちで育てた豆で豆腐づくり体験をいずみ会と協力し、実施した。 実施校：滝野南小20人、福田小16人、滝野東小84人 食育授業の一環で、豆腐づくり体験をいずみ会と協力し、実施した。 実施校：三草小12人(5年生)
中学生食育教室	学校教育課	1月 29人	<ul style="list-style-type: none"> 中学生を対象に、調理実習を兼ねた食育教室をいずみ会と協力し、実施。(家庭科授業)実施校：東条中29人 テーマ：「地産地消」「野菜を食べよう」
社会福祉協議会、福祉施設等との連携	健康課	40回 1,430人	<ul style="list-style-type: none"> 給食サービスボランティア、特養施設おやつづくり教室、デイサービス夏まつり等をいずみ会と協力し、実施した。
生活支援サポーター養成講座	社会福祉協議会	実施	<ul style="list-style-type: none"> 養成講座のコーマで食の知識を学ぶ機会を設け、生活支援につながるボランティアの育成を行った。
和食推進	健康課	レシピ集 配布 4,513部	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に和食コンテストを実施し、令和元年度は受賞作品及び応募作品の中から選んだメニューを編集したレシピ集を作成。家庭や地域において和食を身近に感じてもらうために認定ことも園・保育園、小中学校及び一般市民にレシピ集を配布した。レシピ集はやシニア料理教室、親子クッキング、オープンスクールのクッキング等で活用、配布し、普及啓発を行った。 秋のフェスティバル(健康展)でだしを使った試食(2種各300食)の提供を行った。 給食月間にレシピ集より給食を5回提供した。(給食センター)
【今後の方向性】 食育推進指定校の実践報告を受け、各校に情報提供を行う。「かとう和食の日」を推進するため、関係機関等と情報交換・情報共有をすすめる、連携を強化して食育課題に取り組んでいく。また様々な事業で和食を通して和食の魅力、地産地消の推進、バランスのとれた食事の普及を啓発していく。 令和元年度に作成した和食レシピ集を、広くに普及させるとともに、各世代における食育課題を把握し、課題解決に向けた食育推進に取り組む。 令和元年度に作成した和食レシピ集を活用して、給食月間に給食を提供しレシピ集の普及に努める。 若い世代…朝食摂取の推進 高齢者…低栄養予防、フレイル予防 全体…野菜摂取の増加 など			

2. 身体活動・運動

① 身体活動や運動の重要性・効果について理解する

施策名		施策の方向性	
<p>身体活動や運動に関する情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康づくりのための身体活動基準2013」に基づく普及・啓発 ・広報紙やケーブルテレビを活用した身体活動や運動の重要性・効果等についての情報提供 ・運動をテーマとした健康教育の実施 ・ライフステージに応じた無理なく継続できる軽スポーツやストレッチ、体操等の情報提供 			
1	<p>具体的事業名</p> <p>R1実績</p>	<p>担当課</p> <p>高齢介護課 健康課</p>	<p>具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、ケーブルテレビで放映した。 ・パンフレットを活用し、啓発した。 ・ケーブルテレビで啓発した。 ・サンサンチャレンジ登録者に情報を提供した。
	<p>＋10(プラステン)啓発</p>	健康課	<p>【今後の方向性】</p> <p>ケーブルテレビや広報、保健事業を通じて、運動の重要性や効果についての啓発を継続する。</p>
	メール支援	健康課	

② 身体活動を増加させ、また継続した運動を実施する

施策名		施策の方向性	
<p>日常生活における歩数の増加</p>			
1	<p>具体的事業名</p> <p>加東サンサンチャレンジ 運動講座</p>	<p>担当課</p> <p>健康課</p>	<p>具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅でも実践できる効果的なストレッチや筋力トレーニングを行った。
			<p>【今後の方向性】</p> <p>継続して実施していく。</p>
<p>運動習慣者の割合の増加</p>			
2	<p>具体的事業名</p> <p>サンサンカフェ</p> <p>ヘルスアップ教室</p> <p>ヘルスアップ教室自主教室 支援教室</p>	<p>担当課</p> <p>健康課</p> <p>健康課</p> <p>健康課</p>	<p>具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の実践についての情報交換やストレッチ、筋力トレーニング、ヨガを行った。 ・10回コースで運動教室を開催した。 ・グループワークで仲間づくりを行った。 ・運動の継続化、習慣化に向けて自宅でもできるストレッチ体操を行った。 ・ヘルスアップ教室コースの終了後も、地域で自主的に運動ができるように支援するための教室を3回開催した。
			<p>【今後の方向性】</p> <p>ヘルスアップ教室参加者が教室終了後も継続して運動機会を設けられるよう自主活動立ち上げの支援を継続して行い、運動習慣の定着を図る。</p>

③地域の資源等を有効に活用し、地域ぐるみで運動に取り組む

施策名		施策の方向性	
運動しやすいまちづくり・環境整備		<ul style="list-style-type: none"> ・運動を継続する場の確保を目的とした、運動施設等の有効利用 ・運動の推進を目的とした、関係機関との連携強化や協働による事業・取組の推進 ・身近な公民館や集会所での運動教室の開催やウォーキングコースの紹介などの支援 	
具体的事業名	担当課	具体的な取組内容	
ヘルスアップ教室自主教室	健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスアップ教室後の自主教室。 ・仲間づくりや運動の習慣化を目指して、教室が継続できるように支援した。 	
かとうまちかど体操教室【再掲】	高齢介護課	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域での高齢者の運動の場として、取組みを支援した。 	
ALLかとうスポーツDAY	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・体力測定を年3回開催し、血圧測定、健康相談を行った。 	
ふれあいハイキング	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・サンサンチャレンジの交流会として位置づけ、参加者の交流と運動についての啓発を行った。 	
加東伝の助マラソン大会	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・体力づくり、健康意識の高揚を目的に県立播磨中央公園の園内コースで実施した。 	
1			<p>【今後の方向性】</p> <p>ヘルスアップ教室終了後の自主活動が継続して実施できるよう、支援を継続していく。</p>
			課題、今後の方向性等

3. 休養

①十分な睡眠やストレスと上手に付き合うことで心身の疲労の回復を図り、こころの健康を保つ

施策名		施策の方向性	
睡眠の重要性の普及・啓発		<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠についての正しい知識や睡眠不足の原因解消法等についての情報提供 ・睡眠と心身の健康の関係をはじめ、睡眠障害についての知識、睡眠の重要性などの情報提供による、疾病予防に向けた啓発 ・「健康づくりのための睡眠指針2014」に基づく、ライフステージに応じた睡眠についての普及・啓発 	
具体的事業名	担当課	R1実績	課題、今後の方向性等
広報・ケーブල්テレビ	健康課	実施	<p>【今後の方向性】 睡眠についての啓発を継続するとともに、健診時の個別相談を継続していく。</p>
健診当日保健指導	健康課	210人	
地域健康サロン	健康課	4回	
早寝・早起き・朝ごはん	健康課	実施	
母子健康手帳交付時面接 乳幼児健診時指導	健康課	実施	

4. 飲酒

①飲酒が心身におよぼす影響を正しく理解し、適正な飲酒に努める

施策名		施策の方向性	
適正飲酒の啓発			
具体的事業名	担当課	R1実績	課題、今後の方向性等
こころの健康づくりネットワーク研修	健康課	実施	・アルコール依存が自殺のリスク因子であることを、研修を通じて参加者に啓発した。
こころの健康づくり研修(企業)	健康課	実施	・アルコールによるストレス解消の弊害について、研修を通じ、参加者に啓発した。
広報紙、ケーブルテレビ	健康課	実施	・適正飲酒について啓発した。
まちぐるみ総合健診個別相談会	健康課	実施	・自分のアルコール体質を知るため、アルコールハブチャテストを行った。
【今後の方向性】 継続して実施していく。			

②未成年者の飲酒による健康被害について理解し、未成年者の飲酒を防止する

施策名		施策の方向性	
未成年者の飲酒による健康被害の啓発			
具体的事業名	担当課	R1実績	課題、今後の方向性等
飲酒防止教育	学校教育課	実施	・児童・生徒および保護者に対する、学校活動を通じた、飲酒が健康におよぼす影響への理解の促進 ・健康福祉事務所、教育委員会等との連携強化による、市全体による未成年者に対する教育の徹底
【今後の方向性】 低年齢の段階から健康への影響を認識させ、誘惑に負けない行動ができるようにする。			

③妊娠中の飲酒の影響について理解し、妊婦の飲酒を防止する

施策名		施策の方向性	
妊娠中の飲酒をなくす			
具体的事業名	担当課	R1実績	課題、今後の方向性等
母子健康手帳・父子健康手帳交付時保健指導	健康課	実施	・妊娠中の飲酒による胎児アルコール症候群についての説明や、飲酒の状況を確認した。
【今後の方向性】 継続して実施していく。			

④アルコール関連問題について適切な相談支援を受けることができる

施策名		施策の方向性	
アルコール関連問題に対する早期発見と早期介入			
具体的事業名	担当課	R1実績	課題、今後の方向性等
健診当日保健指導 特定保健指導	健康課	実施	・健康診査、保健指導等での、アルコール問題の早期発見と相談支援 ・保健センターでの、アルコールに対する随時相談支援 ・企業等との連携による職域でのアルコール問題への啓発 ・健康福祉事務所など専門相談機関との連携による多量飲酒者への相談支援とかかりつけ医への受診促進
こころの健康づくり相談窓口 チラシの作成配布	健康課	実施	・多量飲酒者に対して個別相談を行った。 ・アルコール関連の相談窓口を掲載したチラシを作成し、配布した。
【今後の方向性】 健診機会等を生かした、個別対応に努める。			

5. 喫煙

①喫煙のおよぼす悪影響について理解し、多くの疾患のリスクの低減を図る

施策名		施策の方向性	
喫煙率の低下		<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙が心身に与える影響への啓発を目的とした、広報紙やケーブルテレビを活用した情報提供 ・禁煙希望者への具体的な禁煙相談支援 	
1	具体的事業名 広報紙、ケーブルテレビ 健診当日保健指導 禁煙週間 COPD啓発・肺年齢測定 特定保健指導	担当課 健康課 健康課 健康課 健康課 健康課 保険医療課	R1実績 実施 49人 相談数 39人 155人 実施
具体的な取組内容		喫煙のメリット、禁煙週間について啓発した。 ・まちぐるみ総合健診時に、禁煙希望者に一酸化炭素濃度測定を行い、保健師が個別の相談に応じた。 ・禁煙週間を設定し、保健師が個別の相談に応じた。 ・健康展・結果説明会(社会場)において肺年齢測定を行い、COPDの啓発を行った。 ・喫煙者の禁煙意思を確認し、電話支援、訪問支援により相談支援を行った。	
課題、今後の方向性等		【今後の方向性】 今後も肺年齢測定を継続して実施し、COPDの啓発に努める。 禁煙希望者の相談対応を継続して実施する。	

②未成年者の喫煙による健康被害について理解し、喫煙を防止する

施策名		施策の方向性	
未成年者の喫煙による健康被害の啓発		<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒および保護者に対する、学校活動を通じた、喫煙が健康におよぼす影響についての理解促進 ・家庭・地域・学校・医療機関との連携の強化による、未成年者の喫煙防止 	
1	具体的事業名 社高校出張講義 喫煙防止教育	担当課 健康課 学校教育課	R1実績 33人 実施
具体的な取組内容		・看護医療類型の出張講義において、受動喫煙や喫煙の害について高校生に伝えた。 ・小学5年、中学1年、中学3年において、受動喫煙、喫煙による健康被害について学習した。	
課題、今後の方向性等		【今後の方向性】 ・低年齢の段階から健康への影響を認識させ、誘惑に負けない態度を培うようにする。	

③妊娠中の喫煙の影響について理解し、妊婦が喫煙の影響を受けないように配慮する

施策名		施策の方向性	
妊娠中の喫煙をなくす		<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付時における、妊娠中の喫煙、受動喫煙の影響についての啓発、相談支援 	
1	具体的事業名 母子健康手帳・父子健康手帳の交付時保健指導	担当課 健康課	R1実績 実施
具体的な取組内容		・喫煙の有無と受動喫煙の機会の有無を把握し、必要な情報提供や禁煙指導を行った。 ・喫煙を継続している妊婦については、妊娠・出産・子育て安心パートナーが電話でのモニタリングを行い、禁煙支援をした。	
課題、今後の方向性等		【今後の方向性】 継続して実施する。	

④子育て世代における喫煙が子どもにおよぼす影響を理解し、禁煙、分煙する

施策名		施策の方向性	
子どもへの喫煙による影響をなくす			
<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙、ケーブルテレビ、各母子保健事業等を通じて、家族の喫煙が子どもにおよぼす影響について啓発 ・PTA、保護者会等、子育て関係団体への啓発 ・禁煙に向けての相談機会の充実 			
1	具体的事業名	担当課	R1実績
	健診当日保健指導	健康課	実施
	各乳幼児健診、教室	健康課	実施
		具体的な取組内容	課題、今後の方向性等
		<ul style="list-style-type: none"> ・健診時等の禁煙指導を実施する際には、副流煙の害などについて詳しく説明した。 	【今後の方向性】 健診、教室に合わせた啓発を継続する。

⑤受動喫煙のおよぼす影響、対策について正しく理解する

施策名		施策の方向性	
受動喫煙のないまちづくり			
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館、図書館等公共の場における禁煙・分煙対策の推進 ・受動喫煙の防止等に関する条例(兵庫県)の啓発 			
1	具体的事業名	担当課	R1実績
	各乳幼児健診、教室	健康課	実施
		具体的な取組内容	課題、今後の方向性等
		<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙のないまちづくりのチラシを配布した。 	【今後の方向性】 健康増進法の一部改正、県受動喫煙防止条例の改正を踏まえ、啓発に努める。

6. 歯・口腔

①歯・口腔の健康に対する正しい知識を持ち、歯周病等の歯科疾患を予防する

施策名		施策の方向性	
<p>歯・口腔に関する正しい知識の普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科疾患の予防や口腔管理の方法、かかりつけ歯科医を持つことの重要性など、あらゆる機会を通じた歯・口腔の健康に関する知識の普及・啓発 ・歯周疾患検査の受診促進 ・個人の状況に応じた食生活の改善 ・正しい歯磨きの方法、歯間部清掃器具の使用等の啓発 ・「8020運動」に加え、40歳で喪失歯のない市民の増加の推進 ・「かみかみ百歳体操」など地域のグループ活動に対する支援 			
具体的事業名	担当課	R1実績	課題、今後の方向性等
広報紙・ケーブルテレビ	健康課	実施	【今後の方向性】 ・フレイル予防としてのオーラルケアに取り組む。 ・様々な世代への啓発を継続していく。 ・妊婦歯科健診を実施することで、妊娠前から子どもや家族の口腔ケアの必要性について啓発を継続していく。
健康展	健康課	44人	
母子健康手帳・父子健康手帳交付、面接	健康課	実施	
妊婦歯科健診	健康課	37人	
かみかみ百歳体操	高齢介護課	24会場	
歯つらつ講座	高齢介護課	4回 81人	

②学校・職場・地域・医療機関等で、ライフステージに応じた歯科保健サービスを受けられることができる

施策名		施策の方向性	
<p>乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増加</p>			
具体的事業名	担当課	R1実績	課題、今後の方向性等
4か月児健診	健康課	279人	<p>・健診における歯科有病率は低下している。 ・引き続き、健診や教室の機会を利用して、保護者の意識啓発と正しい知識の普及に取り組む。 ・小中学校歯科健診については、給食後の歯磨き週間の設定や保健たよりの発行を通して、歯の健康についての意識向上を図る。</p> <p>【今後の方向性】 継続して実施する。</p>
10か月児相談	健康課	300人	
1歳6か月児歯科健康診査	健康課	314人 *有病率 0.3%	
2歳育児教室	健康課	273人	

1	3歳児歯科健康診査	健康課	330人 *有病率 7.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科健康診査として、歯・口腔の健康チェックや生活習慣なども含めた歯科保健指導を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科健康診査として、歯・口腔の健康チェックや生活習慣なども含めた歯科保健指導を実施した。 ・歯科衛生士による口腔衛生指導を年3回実施し、個別の相談に応じたことで、育児の様々な悩みが軽減した。 ・まちぐるみ総合健診時、子どものむし歯チェックの機会として、歯科健診を実施した。 ・保育所・認定こども園において、歯、口腔の疾病及び異常を早期発見するため、歯科健診を実施した。 ・小中学校において、歯、口腔の疾病及び異常を早期発見するため、歯科健診を実施した。
	子育て何でも相談	健康課	83人		
	歯科相談 (子どものむし歯チェック)	健康課	13人		
	保育所・認定こども園歯科健診	こども教育課	5歳児 311人		
	小・中学校歯科健診	学校教育課	小学生 1,854人 中学生 901人		
施策名					
施策の方向性					
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な歯科健診の受診による、歯・口腔の疾患の早期発見・早期治療の促進 					
2	具体的事業名	担当課	R1実績	具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・【今後の方向性】 ・様々な機会を生かして、かかりつけ歯科医を持つことや、定期的な歯科健診の受診について啓発を継続していく。
	歯周病検診	健康課	461人 (内妊婦9人)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちぐるみ総合健診と併せて、歯周ポケットの測定等歯周病検診を実施した。要精密検査の方は237人(51.4%)で61人(13.2%)の方が精密検査を受診した。 ・ケーブルテレビを通じて精密検査の受診勧奨を行った。 	
	広報紙・ケーブルテレビ	健康課	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診の受診の必要性を啓発した。 	
	母子健康手帳・父子健康手帳交付、面接	健康課	361人	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期の歯科保健、かかりつけ歯科医の必要性について、保健師が個別指導を行った。 	
施策名					
施策の方向性					
<ul style="list-style-type: none"> ・個人による歯・口腔の健康づくりおよび地域、職場、学校、医療機関等を含めた社会全体による個人の取組への支援 ・健康福祉事務所、歯科医師会などの関係機関が開催する会議・連絡会を通じた、歯科保健対策の推進 ・歯科衛生士会活動との連携 					
3	具体的事業名	担当課	R1実績	具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・【今後の方向性】 ・今後継続して実施していく。
	歯科保健連絡会	健康課	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・小野加東歯科医師会と市内関係課による連絡会を開催した。 ・情報交換を行い、課題や今後の方向性について検討した。 	
	歯科保健事業連絡会	健康課	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士会と連絡会を開催し、歯科保健事業実施における課題や今後の方向性について検討した。 	
	年末年始歯科診療	健康課	24人	<ul style="list-style-type: none"> ・小野加東歯科医師会により年末年始休日診療が行われた。 	

第4章 健康危機における健康確保対策

①ふだんから感染症予防について理解を深め、発生の動向を把握し、予防行動をとる

施策名		施策の方向性	
感染症に関する知識の普及・啓発		市民自らが感染症について学ぶことができる機会の提供など、市民の健康危機管理に対する意識向上 市民の自主的な感染症対策の実践を目的とした、医療機関・施設・学校関係機関や市民に対する感染症予防についての普及・啓発 課題、今後の方向性等	
1	具体的事業名 R1実績	担当課	具体的な取組内容
	広報紙・ケーブルテレビ・個別通知	健康課	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種法に基づく定期予防接種の接種動向を、広報等で実施した。 日本脳炎、二種混合、麻疹風しん混合の未接種者及び高齢者肺炎球菌予防接種対象者に、個別通知を行った。 新型コロナウイルス感染症防止のため、ケーブルテレビやホームページで感染症情報の提供や感染防止対策について周知啓発した。
	地域健康サロン	健康課	<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防についてチラシ配布等を行った。
	母子保健事業での健康教育	健康課	<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防、予防接種について周知した。
			【今後の方向性】 継続して実施する。 令和2年10月1日からロタウイルスワクチンを定期接種として実施する。

②関係機関が感染症や災害の発生時に、相互に連携して適切な初動対応を行う

施策名		施策の方向性	
感染症や災害時等の連携体制の構築		感染症の発生や流行時に必要な情報を収集することを目的とした、平時からの国・県や周辺自治体との情報共有 市内の医療機関、消防機関、教育機関等との連携体制の構築による、感染症の発生動向やまん延防止策等の情報発信 災害時や感染まん延時等の危機管理における、市防災計画、新型インフルエンザ等対策行動計画、災害時保健活動ガイドライン等の整備およびそれらの計画に基づく対策	
1	具体的事業名 R1実績	担当課	具体的な取組内容
	新型インフルエンザ等特定接種の登録	健康課	<ul style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザ等対策の実施に携わる公務員の人数及び接種実施医療機関名を厚生労働省の「特定接種管理システム」に登録した。
	兵庫県広域災害・救急医療システム運用訓練	健康課	<ul style="list-style-type: none"> 県広域災害・救急医療情報システムに登録した。 北播磨圏域災害時情報伝達訓練に参加した。
	避難所体験訓練	防災課	<ul style="list-style-type: none"> スカイピア(指定避難所)において、避難者名簿の作成、王子コンテナ(株)兵庫工場との災害時応援協定によるダンボール組立体験や防災士による防災体験(ポリ袋クッキングなど)など関係機関と連携し訓練を実施した。
	地域医療連絡会	健康課	<ul style="list-style-type: none"> 小野市・加東市医師会と保健事業等について協議した。
	感染症相談窓口の設置	健康課	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種や感染症についての相談や問い合わせに応じた。
			【今後の方向性】 継続して実施する。 避難所体験訓練については、実施内容等を検討・調整しながら継続して実施する。

③早期に必要な感染症の検査や健康診断、保健指導を受けられることができる

施策名		施策の方向性	
感染症に対する相談体制に充実		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の相談窓口や定期健康診断の受診啓発 ・感染症についての個別保健指導の実施 ・要介護者や障害者等支援を必要とする感染症患者に対する相談体制の充実および必要な生活支援のコーディネート 	
1	具体的事業名	担当課	具体的な取組内容
	予防接種に関するチラシ配布	健康課	・母子健康手帳交付時に、予防接種チェック表を配付した。
	母子保健事業での個別指導	健康課	・乳幼児健診で個別の相談に対応した。
	定期予防接種の実施	健康課	・予防接種法に基づくワクチンを、法定上で規定する対象者、回数等で個別接種で実施した。
	行政措置による予防接種	健康課	・おたふくかぜ予防接種を1人1回分全額助成した。
	任意予防接種の助成	健康課	・風しん(麻しん風しん混合)及び23価肺炎球菌ワクチン接種を助成した。 ・小野市加東市以外の医療機関で接種した方に対しては、払い戻し(償還払い)手続きでの助成を実施した。
		<p>国や県が設置する相談窓口を周知した。</p> <p>【今後の方向性】 継続して実施する。</p>	

④市民が予防接種の方法について正しく理解し、適切に予防接種を受けられることができる

施策名		施策の方向性	
予防接種率の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・医師会や関係機関との連携、調整による円滑な予防接種体制の確保 ・妊産婦や乳幼児を持つ家庭、高齢者等に対する予防接種の普及・啓発 ・教育委員会、保育所等との連携による定期予防接種率の向上 	
1	具体的事業名	担当課	具体的な取組内容
	予防接種に関するチラシ配布	健康課	・母子健康手帳交付時に、予防接種チェック表を配付した。
	母子保健事業での個別指導	健康課	・乳幼児健診で個別の相談に対応した。
	定期予防接種の実施	健康課	・予防接種法に基づくワクチンを、法定上で規定する対象者、回数等で個別接種で実施した。
	行政措置による予防接種	健康課	・おたふくかぜ予防接種を1人1回分全額助成した。
	任意予防接種の助成	健康課	・風しん(麻しん風しん混合)予防接種及び23価肺炎球菌ワクチン接種を助成した。 ・小野市加東市以外の医療機関で接種した方に対しては、払い戻し(償還払い)手続きでの助成を実施した。
		<p>【今後の方向性】 継続して実施する。</p>	

予防接種の実施状況

◆ 子どもの定期予防接種一覧

予防接種名	接種回数	実績（単位：人、接種率％）		対象者
		元年度		
ヒブ（初回免疫、追加免疫）	4	1,168人	82.1%	生後2～60か月に至るまで
小児用肺炎球菌（初回免疫、追加免疫）	4	1,206人	84.8%	生後2～60か月に至るまで
B型肝炎	3	902人	85.9%	生後1歳に至るまで
四種混合、二種混合（1期初回、1期追加）	4	1,256人	88.3%	生後3～90か月に至るまで
不活化ポリオ（初回、追加）	4	0人	-	生後3～90か月に至るまで
BCG	1	303人	86.6%	生後1歳に至るまで
麻しん風しん混合（1期）	1	312人	83.9%	生後12～24か月に至るまで
麻しん風しん混合（2期）	1	305人	92.4%	小学校就学前までの1年間（年長に相当する児）
水痘	2	663人	89.1%	生後12～36か月に至るまで
日本脳炎（1期）	3	1,112人	105.7%	生後6～90か月に至るまで
日本脳炎（2期）	1	298人	81.4%	9歳以上13歳未満
日本脳炎（特例対象者）	延4	243人	-	（※1）
二種混合（2期）	1	395人	108.2%	11歳以上13歳未満
子宮頸がん予防	3	6人	-	中学1年生～高校1年生に相当する女子

（※1）日本脳炎予防接種の特例対象者について

特例① 平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれの方

→20歳になるまでの期間で、最大4回接種可（1期及び2期の未接種分）

特例② 平成19年4月2日から平成21年10月1日生まれの方

→日本脳炎1期及び2期の接種期間で、最大4回接種可（1期の未接種分を2期に接種可）

◆ 高齢者の定期予防接種一覧

予防接種名	接種回数	実績（単位：人、接種率％）		対象者
		元年度		
高齢者インフルエンザ	1	6,952人	65.2%	65歳以上の方（※2）
高齢者肺炎球菌	1	447人	35.4%	65歳から100歳までの5歳刻みの年齢の方及び101歳以上の年齢の方（※2）

（※2）高齢者インフルエンザ及び肺炎球菌の対象者について

→上記以外の対象者で、60歳以上65歳未満の方で、心臓、じん臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害をお持ちの方、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害をお持ちの方（障害者手帳1級相当をお持ちの方）

◆ 成人の定期予防接種一覧

予防接種名	接種回数	実績（単位：人）	対象者
		元年度	
風しん第5期	1	84人	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性で、抗体検査の結果の数値が低い方

◆ 行政措置予防接種一覧

予防接種名	接種回数	実績（単位：人）	対象者
		元年度	
おたふくかぜ	1	347人	生後12か月～小学校就学前まで

◆ 任意予防接種費助成一覧

予防接種名	接種回数	実績（単位：人）	対象者
		元年度	
風しん（麻しん風しん混合）	1	22人	抗体検査の結果の数値が低い方
23価肺炎球菌	1	1人	内部障がいに係る身体障害者手帳を有する方

● 接種勧奨方法

区 分	勧奨方法
子どもの定期予防接種	<ul style="list-style-type: none"> 出生時に予診票つづり、接種方法等の説明書配付 新生児訪問で勧奨 健診案内時に勧奨チラシ送付 広報紙、ホームページ等を通じ啓発 保育園、認定こども園及び幼稚園にポスター掲示 個別通知
高齢者の定期予防接種	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関にポスター掲示 広報紙、ホームページ及びケーブルテレビ等を通じ啓発 高齢者肺炎球菌の個別通知
行政措置予防接種	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙、ホームページを通じ啓発 勧奨チラシの配布
任意予防接種費助成	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙、ホームページを通じ啓発 勧奨チラシの配布 身体障害者手帳交付時に23価肺炎球菌の対象者に勧奨チラシを配付

令和元年度事業の推進について

市民の予防接種に対する関心を高め、予防接種率の向上を図るとともに、感染症の予防対策をはじめ、感染症に関する知識の普及、啓発を推進しました。